

これからの地域づくり ～持続可能な暮らしの実現を目指して～

令和元年6月22日（土）

市民生活部 市民協働推進課

1

これからの地域づくりとは・・・



少子高齢化・人口減少時代

の地域づくりです！

2

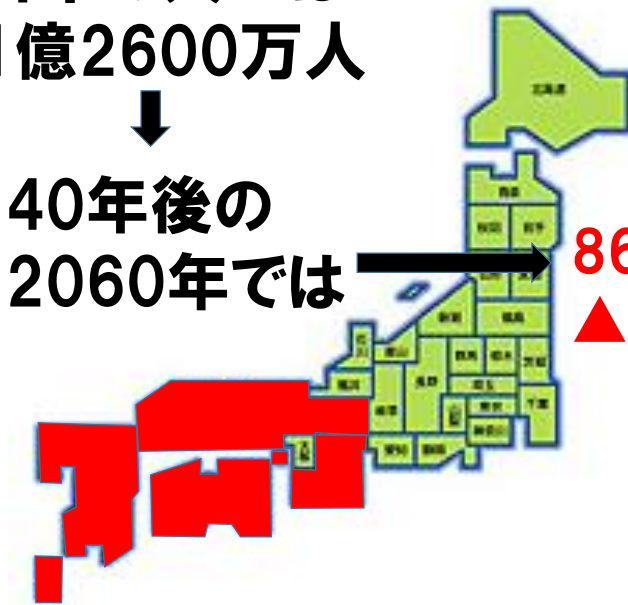
日本の人口は
1億2600万人



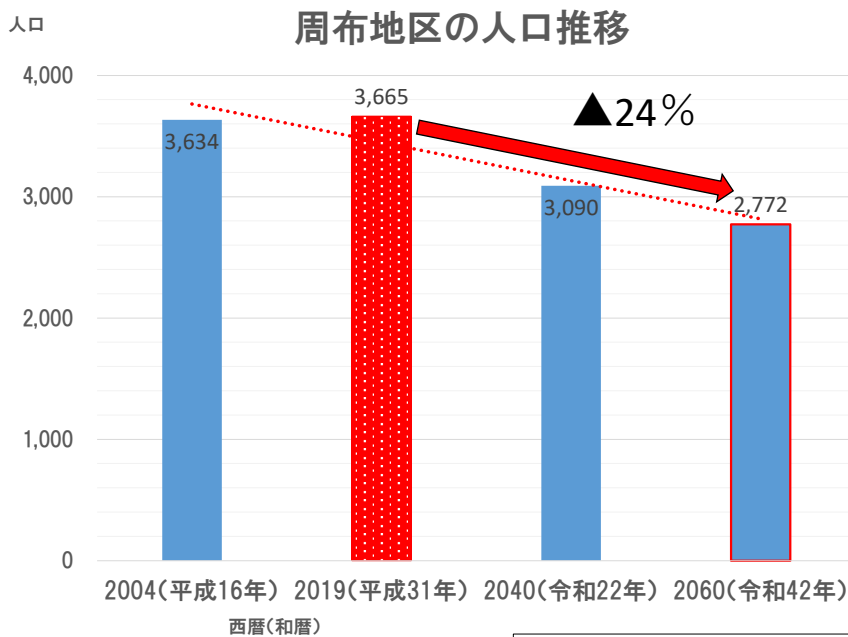
40年後の
2060年では



8600万人
▲4000万人
(▲32%)



3



【資料】2004・2019年は住民基本台帳
2040年以降は社人研の数値を活用

4

自治会、PTA、地域で活動する 団体の代表者で議論を度重ねて..



5

策定に至った背景

- ①少子高齢化・人口減少時代の到来
- ②多様化・複雑化する地域課題
- ③地域で活動する団体の組織的な課題
- ④地域コミュニティの重要性を再認識

6

多様化・複雑化する地域課題

社会環境等の変化

少子高齢化・人口減少

価値観・ライフスタイルの多様化

家族形態の多様化

人間関係の希薄化

つながり・地域力の低下

多様化・複雑化する地域の課題

自然災害

犯罪

空き家対策

虐待

子育て

退職後の
生き方探し

一人暮らし
高齢世帯

介護予防

買い物弱者

老老介護

孤立死
(孤独死)

行政だけでは対応（解決）できない課題

求められる地域・市民の課題解決力

7

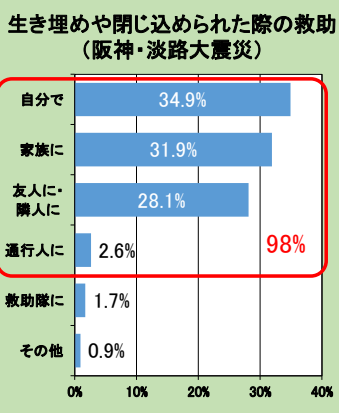
地域で活動する団体の組織的な課題

- 役員の高齢化・固定化・輪番制
- 活動者の不足
- 事業のマンネリ化
- 若者や女性参加者が少ない
- 団体運営に必要な事務が大変
- 他の団体との交流や連携が不足
- 資金の不足
- 地域活動に無関心な方の増加

8

地域コミュニティの重要性

東日本大震災、西日本豪雨など 各地で発生する大災害・・・



(社)日本火災学会「兵庫県南部地震における火災に関する調査報告書」による

阪神・淡路大震災で生き埋めや閉じ込められた際の救助は、98%の人が自分で、あるいは、家族、友人・隣人、通行人によると答えており、救助隊によると答えた人は、約1.7%にすぎませんでした。

9

これからの地域コミュニティが目指す方向性

多様な主体が「**参加**」する

団体同士がつながい、「**連携**」する

地域内での「**話し合い**」を大切にする

地域住民が主体となって「**課題解決**」を行う

10

基本指針に掲げる目標

少子高齢化・人口減少時代の中でも

**持続可能な暮らしを実現する
地域コミュニティを構築し、**

行政だけでなく、地域をよく知る住民が中心となって、
地域の課題を解決する

地域自治の実現を目指します！

11

目標の実現に向けて

西条市は、市内全域への・・・

地域自治組織の設立を
目指します！

12

概ね小学校区



13

概ね小学校区



14

《地域自治組織とは》

○自治会や各種団体だけでは
対応できない地域の課題を解決する

○自治会や各種団体の活動を
支える・補完する

15

① 進め方を皆で考える



16

② 住民意識の醸成（講演会）



③ 皆の意見を聞く（座談会）



④ 意見をまとめる・どうすべきか考える

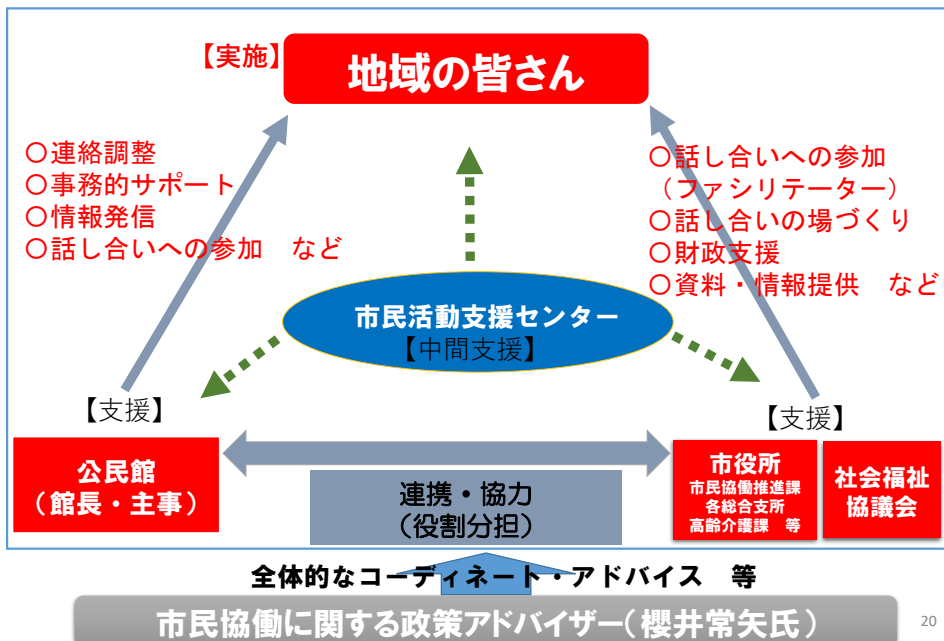


橘地区(橘の未来をえがく会)



大町地区(大町地区地域づくり検討会)

各地域で行われる地域づくりへのサポート体制



《市の考え》

地域の「伝統」「歴史」「個性」「特徴」などを大切にします。

地域の皆さんと・・・

丁寧に話し合いながら
進めます！

21

これからの地域づくりを
一緒に考えていきませんか？

22